

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2012年4月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「セルロース革命」	環境・ものづくり	「オープニング」 大島 一史氏(バイオインダストリー協会 先端技術・開発部 部長) 「ナノセルロースー バイオマテリアルのパラダイムシフト」 矢野 浩之氏(京大大学生存圏研究所 教授) 「バイオ・ナノファイバー複合材料高機能化技術の開発～樹脂強化材としての実用化への取り組み」 北川 和男氏(京都市産業技術研究所 研究部長)
2012年5月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「化粧品およびヨーロッパにおける現行規制の枠組み」および動物試験禁止への対応ー代替法の開発動向	基礎・基盤	「化粧品およびヨーロッパにおける現行規制の枠組みー動向 動物試験禁止条令の背景と現状、タイムフレーム、域外企業が留意すべきこと他」 Dr. Sylvana P. Mueller氏 (Managing Director FORIM GmbH, Member of Knoell Group(**)) 「欧米、日本における代替法の現状と化粧品の安全性評価における代替法」 小島 肇氏(国立医薬品食品衛生研究所 新規試験法評価室 室長) パネルディスカッション
2012年5月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「醸造用酵母の育種と比較ゲノム一次世代シーケンサーとオミクス解析が拓く新時代ー」	基礎・基盤	司会・オーガナイザー 新城 雅子氏(ジーンデータ(株)サイエンティフィック コンサルタント) 「産業酵母研究の潮流とパン酵母開発への挑戦」 高木 博史氏(奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 教授) 「ゲノム情報に基づいたビール酵母の研究」 尾形 智夫氏(アサヒビール(株)醸造研究所 主幹研究員) 「泡盛酵母のNGS解析と民間企業での泡盛開発の現状」 塚原 正俊氏((株)バイオジェット CEO) 「清酒酵母群のゲノム情報と応用展望」 赤尾 健 氏((独)酒類総合研究所 醸造技術基盤研究部門 主任研究員) 「Genedata Selector: Comparative genomics & multi-omics of yeast for fermentation based applications」 Thomas Hartsch氏(Genedata AG Business Development) パネルディスカッション、交流会
2012年6月12日	“未来へのバイオ技術”勉強会「美肌とアンチエイジング」	環境・ものづくり	「スキンケアによる光老化への対応」 天野 聡氏(資生堂リサーチセンター) 「美肌の力学ー皮膚の老化としわの形態変化ー」 吉川 暢宏氏(東京大学生産技術研究所 教授) 「聖マリアンナ医科大学の皮膚臨床研究ーほうれい線を改善できるか?!ー」 山口 葉子氏(聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター准教授/(株)ナノエッグ 代表取締役社長)
2012年6月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱」	環境・ものづくり	「植物由来、軟質バイオポリマーの開発と商業化への取り組み」 松本 圭司氏((株)カネカ GP事業開発部 将来技術グループリーダー) 「酵素で一日で分解、生分解性マルチフィルムによる省労力農業」 北本 宏子氏((独)農業環境技術研究所 生物生態機能研究領域 情報化学物質・生態機能リサーチプロジェクト リーダー) 「実用化が期待されるコラーゲンヒトリゲルの開発状況」 竹澤 俊明氏((独)農業生物資源研究所 動物科学研究領域 動物生体防御研究ユニット上級研究員)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2012年7月5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「オートファジー研究ー基礎から疾患に挑戦する」	医療、医薬	「オートファジーの分子機構、病態生理との関連」 水島 昇氏(東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 細胞生理学分野 教授) 「オートファジーの破綻による腫瘍形成、そのメカニズム」 小松 雅明 氏((財)東京都医学総合研究所 蛋白質リサイクルPT プロジェクトリーダー)
2012年8月7日	“未来へのバイオ技術”勉強会「微生物コミュニケーションー解明と応用」	基礎・基盤	「クオラムセンシングによる微生物コミュニケーションの解明と応用」 池田 幸氏(宇都宮大学大学院 工学研究科 物質環境化学専攻 教授) 「“多細胞生物”麹菌の危機管理術～細胞間をつなぐ穴をふさぐメカニズム」 丸山 潤一氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命工学専攻 助教) 「酵母と乳酸菌のコミュニケーション」 片倉 啓雄氏(関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科 教授)
2012年8月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「育てる！バイオと水産業～ウナギとマグロの明日」	食料・機能的食品	「ウナギは3000キロも泳いで日本にやってくる」 塚本 勝巳氏(東京大学大気海洋研究所 海洋生命科学部門 教授) 「完全養殖・近大クロマグロの商業化」 家戸 敬太郎氏(近畿大学水産研究所白浜実験場 准教授) ウナギとマグロを食べて、残暑を乗り切る昼食会
2012年9月3日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ストレスを指標とした健康食品の開発」	食料・機能的食品	司会・オーガナイザー 山本(前田)万里氏((独)農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所) 「オープニング」 橋爪 秀一氏(日本動物細胞工学会会長、Idea-Creating Lab、東邦大学、元(株)森永生科学研究所) 「活性酸素種の関与する酸化ストレス傷害の謎に迫る」 河野 雅弘氏(東京工業大学) 「酸化ストレスと生体のレドックス制御」 淀井 淳司氏(京都大学) 「抗酸化物質による遺伝子発現制御と疾患」 野口 範子氏(同志社大学) 「神経系における酸化ストレスと食品成分」 磯田 博子氏(筑波大学)
2012年9月7日	“未来へのバイオ技術”勉強会「JBA/FIRM再生医療セミナー1「再生医療産業化の課題」	医療、医薬	司会:伴 寿一 氏 武田薬品工業(株)医薬営業本部シニアコーディネーター 「はじめに」 吉岡 康弘氏(FIRM運営委員長、富士フィルム(株) フェロー) 「再生医療の臨床研究と産業化にむけて」 梅澤 明弘氏(国立成育医療研究センター 再生医療センター長) 「細胞・組織利用製品の承認区分と周辺機器に関して」 鮫島 正氏(テルモ(株)研究開発本部 研究主幹) 「製造業の役割」 中島 秀典氏(アステラス製薬(株)分子医学研究所 主席研究員)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2012年9月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「イスラム市場の魅力に挑戦する！～ハラール(Halal)マーケット進出をめざして」	食料・機能性食品	「ハラール(Halal)マーケット進出のための課題とバイオへの期待」 並河 良一氏(中京大学 総合政策学部 教授) 「Halal対応への道」 兼松 章氏(味の素(株) 品質保証部) 「金コロイドを用いた高感度ハラール対応食品診断薬の開発」 岡本 浩治氏(田中貴金属工業(株) メディカル部)
2012年10月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「やわらかいデバイス」	基礎・基盤	「オープニング」 梶山 直樹氏(キッコーマン(株)研究開発本部 応用研究開発部長) 「発酵から診断薬へー新規高性能プロテインアレイシステムへの展開」 五味 恵子氏(キッコーマン(株)研究開発本部) 「ひかれあうDNAと蛋白質ー核酸リガンド”アプタマー”を用いた各種診断用バイオセンサー」 池袋 一典氏(東京農工大学大学院工学研究院 教授) 「体内に埋め込めるフレキシブル有機デバイスの実現を目指して」 染谷 隆夫氏(東京大学大学院工学系研究科 教授、JST ERATO生体調和エレクトロニクス 研究総括) 「タンパク質と基板が織り成す”ActiveBio場”の実現をめざして」 山下 一郎氏(奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 客員教授)
2012年10月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「Successful Aging—Sirtuin を中心に」	食料・機能性食品	「はじめに」 首藤 紘一氏(乙卯研究所) 「クロマチン:頑強性・脆弱性ー「多対多」を基盤とした遺伝子制御ー」 堀越 正美氏(東京大学分子細胞生物学研究所) 「5-アミノレブリン酸(ALA)の多様な働き」 中島 元夫氏(SBI ファーマ) 「緑茶カテキンと癌:新知見」 藤木 博太氏(埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所) 「レチノイドとアルツハイマー病」 首藤 紘一氏(乙卯研究所) 「Sirtuin: Alzheimer’s, Parkinson’s and Huntington’s diseases」 Leonard Guarente氏(マサチューセッツ工科大学)
2012年10月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食総研は宝の山(第2回)」	食料・機能性食品	「オープニング」長島 實氏(食品総合研究所 技術統括) 「食品の流通・加工・評価技術開発に向けた食品工学研究領域での研究」 五十部 誠一郎氏(食品工学研究領域長) 「蛍光指紋を主とした農産物・食品の評価技術開発」 杉山 純一氏(食品工学研究領域 計測情報工学ユニット長) 「SPMを核としたナノ評価技術と農水省のナノテックプロジェクトの成果概要」 杉山 滋氏(食品工学研究領域 ナノバイオ工学ユニット長) 「食品微生物挙動データベースの開発及び活用」 小関 成樹氏(食品工学研究領域 流通工学ユニット 主任研究員) 「アクアガス(微細水滴含有過熱水蒸気)による高品質加熱処理」 五月女 格氏(食品工学研究領域 製造工学ユニット 主任研究員)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2012年11月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「すこやかな眠りの科学」	基礎・基盤	「聞いて得する眠りの話」 裏出 良博氏((公財)大阪バイオサイエンス研究所 分子行動生物学部門 研究部長) 「アミノ酸グリシンの睡眠改善作用の発見と作用機序の解明」 坂内 慎氏(味の素(株)イノベーション研究所 栄養基盤研究グループ長) 「PG-DHA摂取が睡眠の質に及ぼす効果」 大久保 剛氏(日油(株)食品事業部食品研究所第4グループ(機能食品)主任研究員) 「香気成分セドロールによる睡眠改善効果とその検証」 山城 由華吏氏(花王(株)ヒューマンヘルスケア研究センター)
2012年12月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「保湿の極意とエビデンス」	環境・ものづくり	「化粧品における保湿研究事例～皮膚の保湿メカニズム、保湿剤および保湿製剤の開発、有効性評価」 上原 静香氏((株)コーセー研究所 開発研究室) 「フコイダンの美肌作用のエビデンス」 大野木 宏氏(タカラバイオ(株) バイオ研究所 主任研究員) 「皮膚外用剤の適正使用」 大谷 道輝氏(東京通信病院 薬剤部 副薬剤部長)
2012年12月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「JBA/FIRM再生医療セミナー 2 iPSC細胞－企業の取り組み」	医療、医薬	司会 飯野 直子 氏(テラ株式会社 取締役 専務執行役員) 「iPS cells in drug discovery」 中西 淳 氏(武田薬品工業株式会社 医薬研究本部 先端科学研究所 主席研究員) 「日本網膜研究所のグローバル治験戦略」 鍵本 忠尚 氏(株式会社日本網膜研究所 代表取締役社長兼CEO) 「再生医療の開発支援事業への取り組み～ベクター・細胞のGMP製造～」 峰野 純一氏(タカラバイオ株式会社 常務執行役員 細胞・遺伝子治療センター長)
2012年12月18日	“未来へのバイオ技術”勉強会『ヒトiPS臨床応用のカギを握る動物実験系』～iPS細胞に関わる霊長類マーマモセットからヒト疾患モデルマウスまで～	医療、医薬	「日本の競争力向上のための実中研の取り組み」野村龍太氏(実中研 専務理事・副所長) 「重度免疫不全NOGマウスを用いたヒト化マウス」伊藤守氏(実中研 研究部門長) 「ヒト化肝臓(humanized liver)マウス - TK-NOGマウスの開発」末水洋志氏(実中研 バイオメディカル研究部 部長) 「iPS再生医療実現化を目指した小型霊長類コモンマーマモセットを用いた前臨床研究システムの確立」佐々木えりか氏(実中研 応用発生学研究部 部長) 「再生医療の安全性及び品質のNOGマウス等を用いた評価 ～細胞・組織加工製品の造腫瘍性評価法の開発～」 佐藤陽治氏(国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子細胞医薬部 部長)
2013年2月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱2」	環境・ものづくり	「非可食バイオマスからのグリーン化学品・樹脂原料の生産」 乾 将行 氏((公財)地球環境産業技術研究機構バイオ研究グループ主席研究員) 「植物から作るプロピレン」 和田 光史 氏(三井化学(株) 触媒科学研究所 研究主幹) 「100%サステナブルマテリアル コンセプトタイヤの開発」 福島 靖王 氏((株)ブリヂストン 中央研究所 研究第三部 先端機能基盤技術研究第五ユニットリーダー)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2013年4月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオマス利用の真実～日本の知力を結集できるか」	環境・ものづくり	「バイオマス利用の現実－私はこう考える」 五十嵐 泰夫 氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授) 「バイオマス利用ものづくりのプレイクスルー」 東田 英毅 氏(旭硝子(株) ASPEX事業部 主幹) 「次世代のグリーンイノベーション戦略」 岡田智之 氏((株)三井物産戦略研究所 新事業開発部グリーンイノベーション室プロジェクトマネージャー) 「これからの海外バイオマス利用戦略」 泉 可也 氏((株)Biomaterial in Tokyo 代表取締役社長)
2013年5月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオリソースの新しい風」	基礎・基盤	「超深海への挑戦:「超深海性カイコウオオソコエビの新規セルラーゼ」」 小林 英城氏((独)海洋研究開発機構 海洋・極限環境生物圏領域 深海・地殻内生物圏研究プログラム 環境メタゲノム解析研究チーム 主任研究員) 「過去から未来への挑戦:「菌のタイムカプセルー寝ていた子を起こす?」」 田中 みち子氏(北海道大学大学院農学研究院 寄付講座 微生物新機能開発学研究室 特任准教授) 「共生系への挑戦:「ホソヘリカメムシは細菌を取り込んで農薬に強くなる!」」 菊池 義智氏((独)産業技術総合研究所 北海道センター 主任研究員 北海道大学大学院農学研究院 寄付講座 微生物新機能開発学研究室 助教(兼任)) 「複合系への挑戦:「植物(ウツボカズラ・ジャガイモ)共生細菌の解析と応用」」 諸星 知広氏(宇都宮大学大学院工学研究科 准教授)
2013年5月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「右か左か?それが問題だ!～D-アミノ酸研究の新展開～」	基礎・基盤	「ホモキラルな世界の中で活躍するD-アミノ酸:中枢神経系におけるD-セリンの役割を中心に」 笹部潤平氏(慶應義塾大学医学部解剖学 助教) 「生命科学研究の前線を支える「キラルアミノ酸メタボローム解析」」 浜瀬健司氏(九州大学大学院薬学研究院 准教授) 「皮膚における遊離D-アミノ酸の発見とその生理機能・由来」 東條洋介氏((株)資生堂 化粧品基盤研究センター)
2013年6月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会 バイオ素材百花繚乱3	環境・ものづくり	「生分解性樹脂ピオノーレの発展」 木村 秀治 氏(昭和電工(株)事業開発センター 応用化学品研究所 伊勢崎ユニット ピオノーレグループ) 「ポリ乳酸、ポリ尿素、高耐熱ポリアミドの特性と開発動向、スケールアップ」 上田 一恵 氏(ユニチカ(株)中央研究所 研究開発グループ) 「バイオケミカル/樹脂を巡る世界の潮流と双日グループの取組み」 森本 郁徳 氏((株)双日総合研究所 事業コンサルティンググループ 主任アナリスト)



開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2013年7月18日	“未来へのバイオ技術”勉強会「「バイオ燃料・バイオリファイナリー研究開発」における菌株育種とプロセス開発の潮流と最先端オミクス解析の活用による新展開」	環境・ものづくり	「Industrial Biotechnology & Sustainable Energy in the Omics-Era:Challenge Accepted?」 Genedata AG Dr. Thomas Hartsch氏 「酵母発現系の改良(ターミネーターを中心として)」 (株)豊田中央研究所 松山 崇氏 「不均衡変異導入法による産業用生物の機能向上」 (株)ネオ・モルガン研究所 釘宮 理恵氏 「民間企業におけるNGSの導入と活用 —いつやるの?—」 (株)バイオジェット 塚原正俊氏 「バイオエタノール生産に向けた酵母の新しいストレス耐性機構」 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 高木博史氏 「バイオ燃料生産向け耐熱性酵母のゲノム解析と育種」 山口大学医学系研究科 星田尚司氏 「バイオ燃料生産向け単細胞性緑藻の育種」 中央大学理工学部 原山重明氏 「東レにおける可食糖を原料としたD-乳酸連続発酵および非可食糖を原料としたバイオケミカル連続発酵に関する取組」 東レ(株) 澤井健司氏
2013年8月6日	“未来へのバイオ技術”勉強会「STH法を活用した簡易・迅速・複数遺伝子同時測定ツール—感染菌検査、体質検査、品種鑑定—」	基礎・基盤	「STH-PASを活用した簡易・迅速・複数遺伝子同時測定」 川瀬 三雄 氏 (東北大学大学院 医工学研究科 教授) 「迅速PCR-核酸クロマト法で微生物検査が変わる」 江崎 孝行 氏 (岐阜大学大学院 医学系研究科 病原体制御学分野 教授)
2013年9月3日	“未来へのバイオ技術”勉強会「健康長寿社会を支える咀嚼、嚥下研究と食品開発」	食料・機能性食品	「摂食・嚥下障害者のQOL改善及び食品開発への期待」 井上 誠 氏 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野 教授) 「咀嚼・嚥下困難者向け食品の品質評価」 神山かおる 氏 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 食品機能研究領域 上席研究員)
2013年10月2日	“未来へのバイオ技術”勉強会「シミへの新たなアプローチ」	環境・ものづくり	「メラニン合成細胞の形態を大きくかえる因子の発見」 本川 智紀 氏 (ポーラ化成工業(株)) 「メラニン合成酵素をメラノソームに受け渡す仕組みとは? —メラニン合成酵素の受け渡しに関わる膜融合装置SNARE—」 福田 光則 氏 (東北大学大学院生命科学研究科教授) 「肌の奥のメラニン生成ルート“アンダーメラニンルート”の発見」 藤原留美子 氏 (資生堂リサーチセンター)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2013年10月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食総研は宝の山(第3回)草本繊維質糖化技術の今-地域からグルコースとキシロースが湧き続ける?」	環境・ものづくり	「最近のバイオマス変換技術開発と商業生産への展望」 長島 實 氏((独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 技術統括) 「草本系原料からの糖液製造技術「CaCCOプロセス」の概要と展望」 徳安 健 氏(食品素材科学研究領域 糖質素材ユニット長) 「 <i>Trichoderma reesei</i> のカタボライト・リプレッション解除株を利用した糖化酵素のオンサイト生産技術開発」 池 正和 氏(食品素材科学研究領域 糖質素材ユニット) 「C5発酵技術の新たな提案による高効率バイオエタノール生産技術」 榊原 祥清 氏(食品バイオテクノロジー研究領域 機能分子設計ユニット)
2013年11月6日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ラクトフェリンの機能と展望」	食料・機能性食品	「ラクトフェリンの新しい可能性」 山内 恒治氏(森永乳業(株) 食品基盤研究所 素材機能研究部 部長) 「腸溶ラクトフェリンの内臓脂肪低減効果とその作用機序について」 小野 知二氏(ライオン(株) 生命科学研究所 主任研究員) 「ラクトフェリンの皮膚への作用」 鈴木 靖志氏(サラヤ(株) ラクトフェリン研究所 所長)
2013年11月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「安全安心社会実現のためのテロ、犯罪対策技術」	基礎・基盤	「安全安心社会実現に向けて(はじめに)」 石森義雄氏(オーガナイザー)((一財)光産業技術振興協会) 「生物化学テロにおける現場対処技術の開発」 瀬戸康雄氏(科学警察研究所 法科学第三部長) 「可搬型生物剤・化学剤検知用バイオセンサの開発」 民谷栄一 氏(大阪大学大学院 工学研究科 教授) 「テラヘルツ波を用いた薬物の非開披検査装置の開発」 川瀬晃道 氏(名古屋大学 エコトピア科学研究所 教授)
2013年12月5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「機能性食品の科学的エビデンス～脂質と糖の代謝改善」	食料・機能性食品	「適正なエビデンスを得る食品臨床試験の進め方～5-アミノレブリン酸の糖代謝改善作用を実例として」 東川史子氏(広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 臨床評価・予防医学プロジェクト研究センター准教授) 「5-アミノレブリン酸のエネルギー代謝亢進作用」 木戸康博氏(京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授)
2014年1月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱4:バイオ系素材の化粧品への利用～スキンケアの新展開」	環境・ものづくり	「バイオサーファクタントの開発:微生物生産から、化粧品素材への用途開拓まで」 北本 大氏((独)産業技術総合研究所 環境化学技術研究部門) 「写真フィルムの技術を、美しい肌作りのために」 中村 善貞氏(富士フィルム(株)ライフサイエンス事業部 商品グループ(兼)医薬品・ヘルスケア研究所) 「生体から学んだ、生体類縁化粧品素材の開発」 岩井 秀隆氏(花王(株)スキンビューティ研究所)
2014年2月19日	“未来へのバイオ技術”勉強会「機能性食品開発のカギを握る免疫賦活・抗酸化・抗炎症作用」	食料・機能性食品	「好中球の免疫反応と光検出技術を利用した免疫賦活・抗酸化・抗炎症作用同時評価法の応用と展望」 数村 公子 氏(浜松トニクス(株)中央研究所第8研究室 専任部員) 「機能性食品開発研究の現場から ～幻のキノコ」コプリノーからエクオール産生能検査まで」 瀧本 陽介 氏((株)ヘルスケアシステムズ 代表取締役)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2014年2月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会 食品機能の一斉分析とデータライブラリー	食料・機能性食品	「機能性食品のメタボロミクス解析」 屋形 直明氏((一財)化学物質評価研究機構) 「ハイスループット食品機能評価法の開発を目指して」 榊原 陽一氏(宮崎大学農学部応用生物科学科 教授) 「機能性食品最新データベース」 金谷 重彦氏(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授)
2014年3月4日	文部科学省「先端研究基盤・共用プラットフォーム形成事業」食品・環境分野施設の趣旨説明・意見交換会(“未来へのバイオ技術”勉強会)	基礎・基盤	「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業について」 弦本 英一氏(文部科学省科学技術・学術政策局研究開発基盤課 課長) 「東京大学・有用タンパク質の発現から機能解析のトータルサポート事業について」 田之倉 優氏(東京大学大学院農学生命科学研究科) 「生体反応および生命維持機構検出システムとその応用」 檜山 英三氏(広島大学自然科学研究支援開発センター) 「超高分解能質量分析によるプロテオミクス・メタボロミクス」 谷口 寿章氏(徳島大学疾患酵素学研究センター) 「新共用プラットフォームを支援するマルチスケール・マルチフィジクス計算化学」 畠山 望氏(東北大学大学院工学研究科) 「北海道大学・先端NMRファシリティの共用促進プログラムにおける取組について」 相沢 智康氏(北海道大学大学院先端生命科学研究院)
2014年3月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「メタゲノミクスの本格的な産業応用に向けて」	医療、医薬	「ヒトメタゲノミクスの現状と将来、JCHMの概要」 山田 拓司氏(東工大・生命理工・講師) 「自然環境におけるメタゲノム研究とその応用」 黒川 顕氏(東工大・地球生命研究所・副所長) 「がん研究とヒトメタゲノミクス」 谷内田 真一氏(国立がん研究センター・研究所・難治がん研究分野・ユニット長)
2014年3月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオマス由来の発酵ナノセルロースの生産と新規高機能性ポリエステルの開発」	環境・ものづくり	「酢酸菌によるセルロース合成と発酵ナノセルロース(NFBC)の大量生産」 田島 健次氏(北海道大学大学院工学研究院 准教授) 「バイオマス由来ポリエステルの生体材料応用および高耐熱化」 石井 大輔氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任助教)
2014年4月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱5:シリコンバイオテクノロジーと応用展開」	環境・ものづくり	「シリカ誘導性タンパク質の発現解析とその利用に向けた取り組み」 藤野 泰寛氏(九州大学基幹教育院 教育実践部 自然科学部門 助教) 「Bacillus属細菌のシリコンバイオサイエンスと融合テクノロジー」 黒田 章夫氏(広島大学大学院 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻 教授) 「稲が作る再生可能な籾殻シリカの応用展開」 奥谷 猛氏(籾殻研究センター センター長)



開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2014年5月8日	“未来へのバイオ技術”勉強会「パーソナル・スマート・ヘルスケアの展望」	ヘルスケア	「ウェアラブル生体情報センサモジュールの開発と展望」 南 重信氏((株)東芝ヘルスケア事業開発部 参事) 「テキスタイル素材の生体インターフェースへの応用と展望:着るだけで生体情報の連続計測を可能とする機能素材“hitoe”」 竹田 恵司氏(東レ(株)瀬田工場テキスタイル・機能資材開発センター加工技術開発室室長)
2014年5月9日	アルコール・バイオマス研究会&“未来へのバイオ技術”勉強会「第2世代のバイオエタノールの現状と課題～日欧の先進事例の報告～」	環境・ものづくり	「PROESATM: breakthrough technology for production of advanced biofuel from cellulosic biomass」 Mr. Pierluigi Picciotti (Business Development Director Asia Pacific, Beta Renewables S.p.A., Italy) 「セルロース系バイオエタノール一貫製造システムの開発」 三橋 秀一氏(バイオエタノール革新技術研究組合 技術開発本部 技術部 製造技術グループマネージャー)
2014年5月15日	“未来へのバイオ技術”勉強会「DNAチップによる食品成分の機能性解析」	食料・機能性食品	「DNAチップ「ジェノパール®」の特徴と応用事例」 生田 健次郎氏(三菱レイヨン(株)横浜研究所 バイオデバイス研究グループ 副主任研究員) 「DNAチップを用いた機能性食品因子感知システムの解析とその展開」 立花 宏文氏(九州大学大学院 農学研究院 主幹教授; 食品機能デザイン研究センター長)
2014年5月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「イチゴ研究最先端」	植物バイオ	「世界初! 食用イチゴの全ゲノム解読とブランド化」 磯部 祥子氏((公財)かずさDNA 研究所 植物ゲノム研究部 主任研究員) 「大果系品種スカイベリーの開発」 大橋 隆氏(栃木県農業試験場いちご研究所 開発研究室 特別研究員) 「密閉型植物工場を活用したイヌインターフェロン含有イチゴ製剤(インターベリーα)の開発」 松村 健氏((独)産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門植物分子工学研究グループ グループリーダー)
2014年6月6日	“未来へのバイオ技術”勉強会「サルコペニア(高齢者の骨格筋減弱)対策」	食料・機能性食品	「サルコペニアとアミノ酸」 小林 久峰氏(味の素(株)健康ケア開発企画部 兼 イノベーション研究所) 「サルコペニア肥満チェックの重要性と予防・改善法」 田辺 解氏(筑波大学 体育系 久野研究室 研究員)
2014年6月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「美味しさとは何か」	食料・機能性食品	「かつおだしはなぜ美味しいのか～味と機能の探求」 近藤 高史氏(味の素(株)イノベーション研究所 フロンティア研究所 食品感覚受容研究グループ主席研究員) 「メタボロミクスの食品二次機能解析への応用」 福崎 英一郎氏(大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻 教授、新資源生物変換研究会 幹事) 「のどで感じるビールのおいしさを科学的に計測する「のど越しセンサー」」 小島 英敏氏(サッポロビール(株)価値創造フロンティア研究所)
2014年7月3日	“未来へのバイオ技術”勉強会「メタボローム解析で全身を診る～うつ病診断と健康寿命伸長」	ヘルスケア	「メタボローム解析によるうつ病血液バイオマーカーの開発とその実用化」 大橋 由明氏(ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株) バイオマーカー・分子診断事業部長) 「ポリアミンの作用による寿命伸長効果とメタボローム解析」 松本 光晴氏(協同乳業(株)研究所 主任研究員)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2014年7月28日	“未来へのバイオ技術”勉強会「数理モデルを産業活性化と健康長寿社会実現に直結させる(1)再生医療・創薬支援」	基礎・基盤	「統計モデルで見えてくる細胞分化メカニズムや環境化学物質の影響」 油谷 幸代氏((独)産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センターネットワーク情報チーム 研究チーム長) 「遺伝子発現の時系列解析によるネットワーク解析」 富永 大介氏((独)産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センターネットワーク情報チーム 主任研究員) 「分子動力学研究を活用した創薬支援」 亀田 倫史氏((独)産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センターネットワーク情報チーム 主任研究員)
2014年7月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「未知未踏の光・生体イメージング～PET関連技術の原理、機器、活用事例」	医療、医薬	「PET関連技術とそれを活用したがん・認知症早期発見の取組みの紹介」 岡田 裕之氏(浜松ホトニクス(株)開発本部PET事業推進部 部長代理 兼 (一財)浜松光医学財団 浜松PET診断センター 事務次長) 「PET活用事例～薬効評価と生体内分布動態の評価を中心に」 塚田 秀夫氏(浜松ホトニクス(株)中央研究所PET応用PETセンター センター長)
2014年8月18日	“未来へのバイオ技術”勉強会「藻類が拓くグリーンバイオ成長戦略のラストステージ」	環境・ものづくり	「藻類を利用したバイオリファイナリーへの挑戦」 近藤 昭彦氏(神戸大学大学院工学研究科 応用化学専攻 バイオ生産研究室 教授) 「微細藻細胞工場の創製のための代謝工学基盤技術開発」 清水 浩氏(大阪大学大学院情報科学研究科 代謝情報工学講座 教授) 「微細藻類の大量培養と利用事例と今後の展望」 増田 篤稔氏((一社)ヤンマー資源循環支援機構 主席研究員)
2014年8月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「日本で草を糖化して 地域から次世代発酵産業を興すには！」	環境・ものづくり	「はじめに(農業環境展望と国産バイオプロセス開発に向けて)」 長島 實氏(農研機構 食品総合研究所 技術統括) 「地域農業との連携による繊維質原料の安定供給システムの構築」 薬師堂 謙一氏(農研機構 バイオマス研究統括コーディネータ) 「草本系原料の変換プロセスの高度化と次世代発酵産業の創出」 徳安 健氏(農研機構 食品総合研究所 糖質素材ユニット長) 「糖液特性に対応した次世代発酵技術の開発」 榊原 祥清氏(農研機構 食品総合研究所 機能分子設計ユニット 主任研究員) 総合討論
2014年9月10日	“未来へのバイオ技術”勉強会「超分子&ポリマーマテリアルと医療デバイス」	医療、医薬	「生体親和性ポリマーマテリアルの創出と医療デバイスへの実装」 石原 一彦氏(東京大学大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻 教授) 「反応性超分子ヒドロゲルの開発と医療応用」 浜地 格氏(京都大学大学院 工学研究科 合成・生物化学専攻 教授)
2014年9月19日	“未来へのバイオ技術”勉強会「脳科学と光トポグラフィの応用展開」	基礎・基盤	「オープニング」 長谷川 清氏((株)日立ハイテクノロジーズ 新事業創生本部 ブレインサイエンスプロジェクト) 「応用脳科学実践の試み:光トポグラフィによる診断法開発とサイコメトリクスによる心の可視化」 檀 一平太氏(中央大学理工学部人間総合理工学科 教授) 「光トポグラフィの原理と脳科学応用事例」 牧 敦氏((株)日立製作所 中央研究所 主管研究員)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2014年9月29日	未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱6: 独創的グリーンケミカルが拓く未来素材」	環境・ものづくり	「多様な芳香族化合物生産の実用化を目指して: インフルエンザ治療薬からグリーンフェノール樹脂まで」 乾 将行氏((公財)地球環境産業技術研究機構(RITE) バイオ研究グループ グループリーダー代行 主席研究員) 「グリーンフェノールのフェノール樹脂用途への展開およびグリーンマテリアルへの期待」 郷 義幸氏(住友ベークライト(株) コーポレートR&Dセンター 部長研究員) 「自然に学ぶフォトニクスポリマー: 透明樹脂から有機レーザーまで」 小西 玄一氏(東京工業大学理工学研究科有機・高分子物質専攻 准教授)
2014年10月7日	“未来へのバイオ技術”勉強会「宇宙創薬」	医療、医薬	「宇宙創薬プロジェクトの概要と今後の展開」 落合 俊昌氏(宇宙創薬協議会 事務局/三菱重工業(株)宇宙利用推進室設計課 課長) 「各種疾患に関する新規ターゲットの探索と遺伝子発現データベース」 吉岡 充弘氏(宇宙創薬協議会 代表研究者/北海道大学大学院医学研究科 教授)
2014年10月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「植物バイオディスカバリー」	植物バイオ	「植物の機能を最大限に活用する」 村中 俊哉氏(大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 教授) 「実用化された植物大量増殖技術」 大西 昇氏(キリン(株)基盤技術研究所 副所長)
2014年10月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食品のリスク管理と安全強化～ヒスタミンを制御する」	食料・機能性食品	「オープニング」 梶山 直樹氏(キッコーマン(株)研究開発本部) 「ヒスタミン制御による安全・安心な水産加工品の開発と競争力強化」 里見 正隆氏((独)水産総合研究センター中央水産研究所 水産物応用開発研究センター) 「ヒスタミン迅速測定キットの開発と展望」 佐藤 常雄氏(キッコーマン(株)研究開発本部)
2014年11月10日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ医薬品生産分野における研究開発とオミクス活用の展望」	医療、医薬	「はじめに」 穴澤 秀治(JBA)、新城雅子氏、下広 英樹氏(ジーンデータ(株)) 「バイオ医薬品生産における現状と課題ーゲノム情報は役立つか?ー」 大政 健史氏(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授) 「Mammalian PowerExpress System®を用いたバイオ医薬品製造のための発現システムの構築」 荒川 琢氏(東洋紡(株)敦賀バイオ研究所) 「CHO細胞の突然変異育種とオミクス解析」 堀内 貴之氏((株)ネオ・モルガン研究所 研究統括) 「抗体医薬品の生産プロセス開発における課題と展望」 田熊 晋也氏(中外製薬(株) 製薬研究部) 「Towards Integrated Continuous Bioprocessing for the Production of Therapeutic Proteins」 Dr. Konstantin Konstantinov(Late Stage Process Development, Genzyme, A Sanofi Company) 「Integrated Analysis in Cell Line Development for Bio-therapeutics Production: Global Trends in Genomics Era」 新城 雅子氏(ジーンデータ(株)サイエンティフィック コンサルタント)、Dr. Thomas Hartsch(Genedata AG) 「総合討論」 モデレーター: 清水 昌氏(JBA産学交流部会 部会長) パネラー: 久保庭 均氏(中外製薬(株)製薬本部長)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2014年11月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「寄生雑草防除技術は食糧・エネルギー問題を解決する」	植物バイオ	「食糧の安定供給を目指した根寄生雑草克服技術の開発」 岡澤 敦司氏(大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授) 「ゲノム解析から読み解く寄生雑草ストライガの寄生の仕組み」 吉田 聡子氏((独)理化学研究所 植物科学研究センター植物免疫研究グループ 上級研究員) 「ゲノミックセレクションによるソルガムの高速分子育種」 堤 伸浩氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻 教授)
2014年11月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ペプチド研究の新潮流」	医療、医薬	「はじめに」 田村 弘志氏(LPSコンサルティング事務所 代表) 「機能性ペプチド(特に生体防御ペプチド)の構造と多様性」 長岡 功氏(順天堂大学 医学部 生化学・生体防御学教室 教授) 「昆虫の生体防御機構と抗微生物タンパク質の利用の試み」 石橋 純氏((独)農業生物資源研究所 遺伝子組換え研究センター 昆虫機能研究開発ユニット 主任研究員) 「特殊ペプチド創薬プラットフォームの開発と今後の展望」 菅 裕明氏(東京大学大学院 理学系研究科 教授)
2014年12月8日	“未来へのバイオ技術”勉強会「数理モデルを産業活性化と健康長寿社会実現に直結させる(2) 物質・エネルギー生産」	基礎・基盤	「物質生産・環境問題とネットワーク解析ーバイオディーゼル産生経路の推定ー」 油谷 幸代氏((独)産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センター ネットワーク情報チーム 研究チーム長) 「パスウェイ推定による微生物改変のための多変量解析」 富永 大介氏((独)産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センターネットワーク情報チーム 主任研究員) 「分子動力学研究を活用した溶解剤・分離用カラム溶出剤の開発」 亀田 倫史氏((独)産業技術総合研究所 ゲノム情報研究センターネットワーク情報チーム 主任研究員)
2014年12月15日	“未来へのバイオ技術”勉強会「未来医療とイノベーション」	医療、医薬	「外科学の新展開ー心筋再生治療ー」 澤 芳樹氏(大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 心臓血管外科学)
2014年12月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱7:グリーンバイオが導く環境技術革命への道しるべー JST ALCA(先端的低炭素化技術開発)バイオ課題から」	植物バイオ	「不毛の土地を二酸化炭素固定農場に」 西澤 直子氏(石川県立大学 生物資源工学研究所 教授) 「気孔の開口を大きくして植物バイオマスを増加」 木下 俊則氏(名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授) 「転写因子による木質バイオマスエンジニアリング」 光田 展隆氏((独)産業総合研究所 生物プロセス研究部門 主任研究員)
2015年1月8日	“未来へのバイオ技術”勉強会「医療グローバル化」	医療、医薬	「メディカル&ヘルスツーリズムのビッグバンをめざして」 高橋 伸佳氏((株)ジェイティービーグループ本社 ジャパン・メディカル&ヘルスツーリズムセンター センター長) 「中東における医療の未来～バーレーン王国との協同を中心に」 河田 聡史氏(日本バーレーン経済友好協会事務局長 SBIファーマ(株))

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2015年1月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「骨と免疫系の新しい夜明け」	医療、医薬	「破骨細胞分化因子RANKLの発見、骨吸収と骨形成のカップリング、そしてその先へ」 保田 尚孝氏(オリエンタル酵母工業(株)) 「骨免疫学(Osteoimmunology)の開拓と治療への応用」 中島 友紀氏(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学分野長 准教授)
2015年1月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ゼロの魅力」	食料・機能性食品	「カフェインゼロのやさしい緑茶」 塩野 貴史氏(キリン(株)R&D本部 飲料技術研究所) 「おやすみ前の飲用を可能にしたノンカフェイン栄養ドリンク<1>」 魚住 明広氏(武田薬品工業(株)ヘルスケアカンパニー マーケティング部マーケティングGマネジャー) 「おやすみ前の飲用を可能にしたノンカフェイン栄養ドリンク<2>」 柳川 久美子氏(武田薬品工業(株)ヘルスケアカンパニー 健康科学研究所) 「糖質ゼロが広げる日本酒の魅力」 堤 浩子氏(月桂冠(株) 総合研究所)
2015年2月5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「プラズマで拓くライフイノベーション」	基礎・基盤	「プラズマ技術の新たな展開 ～生物・医療・農業への応用最前線～」 金子 俊郎氏(東北大学大学院工学研究科 電子工学専攻 教授) 「低侵襲性医療の実現に向けたプラズマの応用」 池原 譲氏((独)産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 病態病理・検出制御技術 特別研究チーム(池原特別研究チーム) 特別研究チーム長・病理専門医研修指導医) 「がん治療に向けたプラズマ照射溶液の研究開発」 田中 宏昌氏(名古屋大学未来社会創造機構 特任講師)
2015年2月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオインターフェース」	基礎・基盤	「バクテリアナノファイバー蛋白質の機能を基盤とする界面微生物プロセスの構築」 堀 克敏氏(名古屋大学大学院工学研究科 化学・生物工学専攻 教授) 「セルロソーム生産菌によるバイオインターフェースとバイオリファイナリーへの応用」 田丸 浩氏(三重大学大学院生物資源学研究科 教授) 「人工細胞モデル膜の構築とストレス評価」 高木 昌宏氏(北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 教授)
2015年3月12日	“未来へのバイオ技術”勉強会「再生医療研究の鍵を握る周辺技術」	医療、医薬	「再生医療向け培養細胞の画像を用いた品質管理技術と培養技術標準化への可能性」 加藤 竜司氏(名古屋大学大学院 創薬科学研究科細胞分子情報学分野 准教授) 「革新的バイオ3DプリンターRegenovaと立体臓器再生プラットフォーム技術」 口石 幸治氏((株)サイフューズ 代表取締役社長) 「細胞の性能を最大限に引き出す細胞培養用製品」 坂田 修作氏(JX日鉱日石エネルギー(株) 機能化学品カンパニー 培地事業 ユニット長)



開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2015年4月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「神戸発、食のグローバルイノベーション～バイオプロダクション次世代農工連携拠点の成果より」	食料・機能性食品	「腸管モデルを利用した機能性食品素材の新規機能性評価システム構築に向けた取り組み」 大澤 朗氏(神戸大学大学院農学研究科 教授) 「特異な生理活性を有するイノシトール類の開発」 吉田 健一氏(神戸大学大学院農学研究科 教授) 「酵素合成グリコーゲンでめざす健康維持・増進」 芦田 均氏(神戸大学大学院農学研究科 教授)
2015年5月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「マイクロエンジニアリング」	基礎・基盤	「細胞溶液・DNA・バイオ試薬の微量分注システム」 加藤 好志氏((株)アプライド・マイクロシステム 代表取締役) 「シングルセルを解析するための様々な試み」 竹山 春子氏(早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学科専攻 教授) 「2次元フォトセンサを利用した新たなバイオ分析手法の確立」 田中 剛氏(東京農工大学大学院 工学研究院 教授)
2015年5月19日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食品の合理的な安全性証明」	食料・機能性食品	「全網羅ミルクペプチドアレイを用いた食物アレルギー病態モニタリング」 大河内 美奈氏(東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻 教授) 「夢の免疫測定素子Quenchbody(Q-body)についてー食品安全への応用を中心に」 上田 宏氏(東京工業大学 資源化学研究所 プロセスシステム工学部門 教授)
2015年6月16日	“未来へのバイオ技術”勉強会「医療を革新する細胞作製と画像クラスタリング～折り紙、ビーズ、ひも、カルタ」	基礎・基盤	「折紙工学の挑戦～医療器具と再生医療への応用」 繁富(栗林)香織氏(北海道大学大学院保健科学研究院 特任助教) 「細胞ファイバー」を基軸とした3次元生体組織の構築と移植医療」 尾上 弘晃氏(慶應義塾大学理工学部機械工学科 専任講師) 「能動学習型ソフトウェアCARTAを用いたライブイメージング～細胞活性評価、がん細胞周期判定」 松永 幸大氏(東京理科大学理工学部応用生物科学科 教授)
2015年7月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「希少難病治療～iPS創薬と内在物質補充療法」	医療、医薬	「難病「ミトコンドリア病」の克服に向けて～内在物質補充療法の進展」 大竹 明氏(埼玉医科大学小児科学教室 教授・運営責任者) 「疾患特異的iPS細胞を用いた難治性骨軟骨疾患の病態解明と創薬」 戸口田 淳也氏(京都大学再生医科学研究所・組織再生応用分野 教授)
2015年8月3日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオロボティクス」	基礎・基盤	「再生医療を革新するバイオマイクロマシンとメディカルロボティクス」 生田 幸士氏(東京大学大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻 教授/東京大学先端科学技術研究センター 教授) 「人間らしく動く人工筋肉～もつと自然にしなやかに」 鈴木 康一氏(東京工業大学大学院理工学研究科 機械宇宙システム専攻 教授) 「昆虫科学が拓く新しい工学:昆虫のセンサと脳の再現による理解と工学応用」 神崎 亮平氏(東京大学先端科学技術研究センター 教授)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2015年9月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「蛋白質発現系の進歩と医療への応用」	医療、医薬	<p>「Brevibacillus 分泌発現系の医療分野への応用」            花方 寛氏 (ヒゲタ醤油(株) 研究開発部 バイオグループ グループリーダー)            「Brevibacillus タンパク質発現系による微生物由来コラゲナーゼの生産と再生医療への応用」            田中 啓友氏 ((株)ニッピ バイオマトリックス研究所 プロジェクトリーダー)            「ラクダ科動物由来シングルドメインVHH抗体の蛋白質科学と工学」            赤澤 陽子氏 ((独)産業技術総合研究所・健康工学研究部門)            「Pichia 酵母発現系を用いたハイスループット構造生物学」            水谷 公彦氏 (京都大学大学院農学研究科 助教)            「Procube カイコ-バキュロウイルス発現系を利用した医療への応用-」            長屋 英和氏 (シスメックス(株) R&amp;I事業本部 事業企画部 課長)</p>
2015年11月6日	“未来へのバイオ技術”勉強会「脱毛症の病態と毛髪再生の試み」	ヘルスケア	<p>「はじめに」            オーガナイザー: 日経BP特命編集委員 宮田 満氏            「脱毛症の病態と再生医療の必要性について」            大山 学氏 (杏林大学 皮膚科学教室 教授)            「次世代再生医療としての毛髪再生医療の実現を目指して」            辻 孝氏 (理化学研究所 多細胞システム形成研究センター チームリーダー)            「自家細胞を用いた薄毛・脱毛治療と細胞加工施設の活用」            岸本 治郎氏 ((株)資生堂 ライフサイエンス研究センター 再生医療開発室長)</p>
2015年11月12日	“未来へのバイオ技術”勉強会「次々世代一分子リアルタイムシーケンサは世界の覇者となるか!?～国際標準化への動きと沖縄の応用事例」	基礎・基盤	<p>「はじめに: バイオ分野における国際標準化の意義」            森 理人氏 (経済産業省 商務情報政策局 生物化学産業課評価調査係長)            「PacBio RS II」の革新性と沖縄綜研のこれまでのゲノム解析の成果」            照屋 邦子氏 ((一社)沖縄総合科学研究所 部長)            「次々世代一分子リアルタイムシーケンサの挑戦」            Ram Laxman 氏 (Pacific Biosciences社 Asia Pasific代表)            「国際標準を目指した米国のゲノム標準現況 -Genome in a Bottle Consortium-」            Justin Zook 氏 (NIST ゲノム標準担当官)</p>
2015年11月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「見えない光を見る～放射線からテラヘルツ波まで～」	基礎・基盤	<p>「オープニング」            浜松ホトニクス(株) 中央研究所 主幹 平松 光夫氏            「高感度・携帯型ガンマ線撮像装置」            大須賀 慎二氏 (浜松ホトニクス(株) 中央研究所第1研究室室長)            「生体微弱発光による新しい生物計測～藻類の遅延発光による排水の環境リスク評価」            勝又 政和氏 (浜松ホトニクス(株) 中央研究所第8研究室 専任部員)            「テラヘルツテクノロジー」            廣本 宣久氏 (静岡大学工学部創造科学技術大学院 ナノビジョン工学専攻 教授/日本赤外線学会 会長)            □</p>

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2015年12月8日	“未来へのバイオ技術”勉強会「Fc受容体 (FcR)を通して考える抗体医薬品の進化と品質管理」	医療、医薬	「オープニング」 柿谷 均 氏(東ソー(株) ライフサイエンス研究所) 「バイオ技術としての抗体工学の現状と今後」 津本 浩平 氏(東京大学医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー／東京大学大学院工学研究科) 「抗体医薬品の品質・有効性・安全性とFc受容体」 石井 明子 氏(国立医薬品衛生研究所 生物薬品部) 「抗体医薬品の高品質化を指向したアフィニティ分離剤の開発」 田中 亨 氏(東ソー(株) ライフサイエンス研究所)
2015年12月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食品のおいしさや履歴を識る新しい技術」	食料・機能性食品	「要素還元的手法を補完するメタボロミクスの食品分析への応用」 藤村 由紀 氏(九州大学・先端融合医療レドックスナビ研究拠点 准教授) 「DART-MSが切り開く新たな食品分析技術～香りの瞬間を質量分析計で捉える～」 佐川 岳人 氏(エスピー食品(株) 開発生産グループ 中央研究所分析 センターチーフ) 「わかめ製品における原料産地判別への取り組み」 絵面 智宏 氏(理研ビタミン(株) 品質保証本部 食品分析センター)
2016年1月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「中分子医薬の最新状況と課題」	医療、医薬	「特殊環状ペプチドの創薬研究開発における立ち位置」 舩屋 圭一 氏(ペプチドリーム(株) 最高執行責任者 ) 「RNAアプタマー医薬品開発の世界動向」 宮川 伸 氏((株)リボミック 取締役 執行役員 探索研究部長) 「テーブルディスカッション」 石井 健久 氏(田辺三菱製薬(株) 創薬本部 探索研究所 連携推進担当部長)
2016年2月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ハイコンテンツアナリシス(HCA)技術の進化」	医療、医薬	「組織透明化技術」 八田 稔久 氏(金沢医科大学医学部解剖 I 教授) 「iCell心筋細胞を用いたマルチスフェロイドイメージング解析による新たな心毒性評価法の開発」 長倉 廷 氏(エーザイ(株) バイオフィーマシューティカル・アセスメント機能ユニット グローバルCV評価部) 「新規並列型共培養器を用いたヒト iPS 細胞分化神経細胞の画像解析」 圖子田 康 氏(セルラー・ダイナミクス・インターナショナル・ジャパン(株)) 「HCAによるライブセルイメージングと3Dイメージングの可能性」 松原 孝宜 氏(横河電機(株) 計測事業本部 ライフサイエンスセンター)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2016年3月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱8」	環境・ものづくり	「最新の微生物改良を利用したバイオマスからの3-ヒドロキシプロピオン酸とn-ブタノール生産」 向山 正治 氏((株)日本触媒 基盤技術研究所) 「リグニンからバイオプロセスにより誘導されるプラットフォームケミカル 2ピロン 4,6-ジカルボン酸(PDC)の生産と利用技術開発」 中村 雅哉 氏((国研)森林総合研究所 きのこ・微生物研究領域微生物工学研究室 室長) 「水中機能ルイス酸触媒を用いた糖変換による必須化学資源の環境低負荷合成」 原 亨和 氏(東京工業大学 応用セラミックス研究所 セラミックス機能部門 教授) 「テーブルディスカッション」 オーガナイザー: 東田 英毅 氏((株)ちとせ研究所 研究開発部/東京工業大学情報生命博士教育院 産業界若手メンター 特任准教授)
2016年3月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「TPP時代の食の安全・トレーサビリティの確保と世界戦略」	食料・機能性食品	「食の安全安心を実現する価値共創経営」(仮題) 東京海洋大学大学院 先端科学技術研究センター 小川美香子氏 「食品のリスクコミュニケーションとグローバル戦略」(仮題) 近畿大学農学部水産学科経営学研究室 有路 昌彦氏
2016年3月28日	“未来へのバイオ技術”勉強会「コンピュータは、ゲームで人を超えられるか?」	基礎・基盤	「棋士の直観思考の脳メカニズム」 理化学研究所 認知機能表現研究チーム 田中 啓治 氏 「コンピュータ将棋・囲碁の現状、及びゲーム研究の未来」 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 情報・通信工学専攻 伊藤 毅志 氏 「囲碁を使って健康づくり! 認知症の予防と改善を目指して」 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 飯塚 あい 氏
2016年4月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「健康食の今昔」	食料・機能性食品	「落語に見る江戸の健康食」菅野 俊輔 氏(江戸文化研究家) 「科学的根拠に基づく栄養学の勧め(あなた自身の健康を守るために)」 佐々木 敏 氏(東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 疫学保健学講座 社会予防疫学分野 教授)
2016年4月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「コスメティック・サイエンス～お肌に潤い、心に癒しを」	環境・ものづくり	「今、女性が求めるコスメとは。～“肌の悩み”と“なりたい肌”」 オーガナイザー: 中野 恵子 氏(日経BP社 ビズライフ局編集委員・日経ヘルス編集委員) 「酸化ストレスの肌への影響に着目した化粧品開発」 平 昌宏 氏((株)コーセー研究所 開発研究室 薬事効能研究グループ) 「香りの抗疲労作用における嗅覚の関与」 齋藤 菜穂子 氏(花王(株) 感性科学研究所 グループリーダー) 「コラーゲン産生を促進するアンチエイジング化粧品の開発と展望」 湯浅(小島) 明子 氏(大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2016年5月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「幹細胞の創薬利用と産学連携」	医療、医薬	「多能性幹細胞から膵β細胞への分化誘導」 桑 昭苑 氏(東京工業大学大学院 生命理工学研究科 教授) 「アミノ酸代謝制御による幹細胞の未分化性維持と分化促進」 白木 伸明 氏(東京工業大学大学院 生命理工学研究科 准教授) 「iPS細胞技術ビジネス:大学と事業会社のギャップを埋めるビジネスの重要性」 中島 秀典 氏((株)iPSポータル 取締役 リサーチ&サービス事業部長)
2016年6月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ヒト幹細胞からのオルガノイド作製と今後の展望」	医療、医薬	「ヒト多能性幹細胞から腎臓オルガノイドの作成と疾患モデル系構築」 森實 隆司 氏(Associate Biologist, Renal Division, Brigham and Women's Hospital Affiliate Faculty, Harvard Stem Cell Institute Instructor, Harvard Medical School) 「ヒト多能性幹細胞からの機能的視床下部・脳下垂体構築」 須賀 英隆 氏(名古屋大学 医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 病院助教) 「ヒト多能性幹細胞からの機能的な肝臓オルガノイドの創出」 谷口 英樹 氏(横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学 教授)
2016年6月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「美味しさの尺度と可視化」	食料・機能的食品	「おいしさの構造と数式化の試み」 伏木 亨 氏(龍谷大学農学部 食品栄養学科 教授) 「「美味しい」を測る画像計測」 加藤 邦人 氏(岐阜大学工学部 電気電子・情報工学科 情報コース 准教授)
2016年7月4日	“未来へのバイオ技術”勉強会「驚異の動物イノベーション」	基礎・基盤	「ミミズが医薬品生産工場になる?～新規宿主開発への挑戦～」 赤澤 真一 氏(長岡工業高等専門学校 物質工学科 准教授) 「がん化耐性・老化耐性げっ歯類「ハダカデバネズミ」」 三浦 恭子 氏(北海道大学遺伝子病制御研究所動物機能医科学研究室 講師) 「線虫の嗅覚を用いた尿1滴でのがん診断」 広津 崇亮 氏(九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門 助教)
2016年7月14日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱9～容器包装と物流のエコイノベーション」	環境・ものづくり	「PET分解菌の発見と分解に関わる酵素の解析～リサイクル効率化への展望」 小田 耕平 氏(京都工芸繊維大学 名誉教授) 「自動車部品用樹脂原料に不可欠なフェノールおよび各種化成品のバイオプロセスによる生産～RITEバイオプロセスを用いた社会実装～」 平賀 和三 氏(グリーンフェノール開発(株) 技術部 取締役副部長、(公財)地球環境産業技術研究機構 バイオ研究グループ 副主席研究員) 「アブラムシをヒントに開発した粘着剤「リキッドマーブル」で物流革命を起こす！」 藤井 秀司 氏(大阪工業大学工学部応用化学科 准教授)



開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2016年7月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「植物が鍵を握る産業連関～農業、医薬、食品、化粧品」	植物バイオ	「植物と動物の交信を応用した農業の革新～植物寄生性センチュウの防除と農作物の大幅な増産」 澤 進一郎 氏(熊本大学大学院 自然科学研究科 教授) 「“プラントハンター”が考える植物資源戦略～化粧品から抗HIV薬の開発まで」 渡邊 高志 氏(熊本大学大学院薬学教育部薬用植物分野 教授/薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンター センター長) 「透明作物を短時間で作製する手法“TOMEI”の開発」 松永 幸大 氏(東京理科大学 理工学部 応用生物科学科 教授)
2016年8月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「海洋メタゲノミクスの産業応用と国際戦略」	基礎・基盤	「紅海の海洋メタゲノム解析とその産業応用への挑戦:中東からの報告」 五條堀 孝 氏(アブドラ国王科学技術大学 ディスティングシュド・プロフェッサー/早稲田大学 招聘研究教授/国立遺伝学研究所 特任教授/東京大学 特任教授) 「環境遺伝子資源の解析とマイクロドロップレットを用いた有用遺伝子スクリーニング」 竹山 春子 氏(早稲田大学 先進理工学部 生命医科学科 教授)
2016年9月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱10～やわらか&バリア&ストレッチャブル」	環境・ものづくり	「生体情報計測ウェア用フィルム状ストレッチ性導電素材「COCOMI(心美)」」 石丸 園子 氏(東洋紡(株) 総合研究所 コーポレート研究所 快適性工学センター 部長) 「ハイヒールで踏んでも壊れないストレッチャブルなカーボンナノチューブトランジスタ」 関口 貴子 氏((国研)産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター CNT用途チーム 主任研究員) 「DLCコーティング技術によるガスバリア性PETボトルの開発と実用化」 加藤 克哉氏(キリン(株) R&D本部 パッケージング技術研究所)
2016年10月28日	“未来へのバイオ技術”勉強会 産学連携オープンイノベーション企画「深海・深海微生物のポテンシャル～JAMSTEC深海サンプル提供事業のご紹介」	基礎・基盤	「そもそも深海とは」 出口 茂 氏(海洋研究開発機構 海洋生命理工学研究開発センター センター長) 「深海微生物のコクとキレ」 高井 研 氏(海洋研究開発機構 深海・地殻内生物圏研究分野 分野長) 「深海サンプル提供事業について<1>」 出口 茂 氏(海洋研究開発機構 海洋生命理工学研究開発センター センター長) 「深海サンプル提供事業について<2>」 布浦 拓郎 氏(海洋生命理工学研究開発センター センター長代理)
2016年11月1日	“未来へのバイオ技術”勉強会「感性の評価と商品開発～触覚・かわいい感・脳機能～」	基礎・基盤	「脳波のフラクタル解析に基づいた感性評価と製品開発」 中川 匡弘 氏(長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻 教授) 「商品開発における触感の評価とコントロール」 野々村 美宗 氏(山形大学大学院理工学研究科 物質化学工学専攻 准教授) 「「かわいい感」の計測と応用事例」 大倉 典子 氏(芝浦工業大学 工学部 教授)
2017年1月12日	“未来へのバイオ技術”勉強会「青藍(あい)の時代:色素が癒やす腸疾患」	環境・ものづくり	「藍染めの概要とインディゴ系色素の挙動」 牛田 智 氏(武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 教授) 「青藍と潰瘍性大腸炎」 長沼 誠 氏(應義塾大学医学部 内科学(消化器)専任講師・診療副部長)

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2017年1月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会「動物実験代替法の現状と展望」	基礎・基盤	「はじめに」オーガナイザー 宮澤 正明 氏(花王(株) 安全性科学研究所/日本動物実験代替法学会) 「動物実験代替法の現状と今後の展開」 小島 肇 氏(国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部 安全性予測評価部第二室 室長/日本動物実験代替法学会 会長) 「皮膚感作性代替法の現状と今後」 西條 拓 氏(花王(株) 安全性科学研究所) 「皮膚刺激性試験代替法の現状と今後」 加藤 雅一 氏((株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング )
2017年2月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「スーパーフードは世界を変える?！」	食料・機能的食品	「スーパーフルーツ「アサイー」で日本の食卓を変える」 長澤 誠 氏((株)フルッタフルッタ 代表取締役CEO) 「スーパーフードの王様スピルリナを健康食品ではなく食文化にする」 笠原 堅 氏((株)ちとせ研究所 シニアバイオエンジニア) 「日本のスーパーフード玄米発酵飲料による肥満、糖尿病の改善」 満田 昌代 氏(会津天竺醸造(株) 総合企画部)
2017年2月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会「骨から診た日本人の起源と健康」	医療、医薬	「ゲノムから見た日本列島人ー多様性の起源と病気についてー」 太田 博樹 氏(北里大学 医学部 解剖学 准教授) 「骨から診た日本人の健康ー古病理学から老年学までー」 鈴木 隆雄 氏(桜美林大学 老年学総合研究所 所長)
2017年3月7日	“未来へのバイオ技術”勉強会&バイオビジネスセミナー「スパコンとAIが実現するIT創薬」	デジタル&IoT	「AI向けスパコン/クラウドが加速するIT創薬」 秋山 泰 氏(東京工業大学 情報理工学院 教授) 「IT創薬における機械学習利用の最新動向」 石田 貴士 氏(東京工業大学 情報理工学院 准教授)
2017年3月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ICTと農業をつなぐ～AI(アグリインフォマティクス)の現状と展望」	デジタル&IoT	「気候変動が作物成長に与える影響の定量的予測分析とその適応策」 辰己 賢一 氏(東京農工大 農学研究院 農業環境工学部門 准教授) 「AI(アグリインフォマティクス)の現状と展望」 神成 淳司 氏(慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室長代理 / 副政府CI) 「機械学習及び人工知能による農作物の表現型予測」 石井 一夫 氏(東京農工大学 農学府・農学部 特任教授)